

線虫淘汰(ネマトータ)について

高栄農産株式会社

ネマトータは、セルロース繊維堆肥、カニ殻、コーラルを主原料とし、これにネコブセンチュウの動きを抑制する放線菌（Streptomyces sp.NA-369）などを定着させた線虫対策土壌改良資材です！

【ネコブセンチュウについて】

左図のようにネコブセンチュウは卵から孵ると二期幼虫となり作物の根を求めて移動します。ここで、作物の根に寄生することが出来なければ栄養を得ることが出来ずに死んでしまいます。

【セルロース繊維堆肥とは？】

ビール酵母・漢方残渣・コーンコブ廃菌床などのセルロース繊維質を好気醗酵させた堆肥です。セルロースは土壌微生物のエサとして最適で様々な微生物が増殖します。また自活性セン虫のエサにもなり、自活セン虫が増え寄生性セン虫の住みにくい環境を作ります。

【放線菌（sp.NA-369）とは？】

放線菌の一種でネコブセンチュウの行動を抑制する働きがあります。

【カニ殻の効果】

カニ殻はキチン質で構成されており、そのキチン質をエサに増殖する微生物がいます。その際にキチナーゼ（キチン質分解酵素）を産生し、これがネコブセンチュウの卵殻を破壊します。

【コーラルの働き】

コーラルは放線菌（sp.NA-369）の住処として最適な天然質多孔体です。コーラルに吸着させることにより長期間安定した高い菌密度を保ちます。また、緩行性 Ca や微量元素の補給源にもなります。

【ネマトータの使用方法は？】

10a 当たり 225Kg（15 袋）を全面施用か植穴施用または植溝施用で使用して下さい。ポイントは、作物の根の周りに本資材が施用されることです。

【ネマトータの使用上の注意は？】

- * 活きている資材ですので直射日光や高温(55℃以上)、低温(0℃以下)を避け、開封後は出来るだけ早く御使用下さい。
- * ダコニール 1000 水和剤ならびにユーパレン水和剤の土壌灌中処理、土壌混和処理は、添加した菌の生存率を著しく低下させますので避けて下さい。
- * その他農薬との併用につきましては、通常使用法に準じていれば問題ありません。

